

第 61 回青森県統計大会

令和4年10月26日（水）

つがる市生涯学習交流センター「松の館」交流ホール



青森県・つがる市・青森県統計協会

第61回青森県統計大会

- ◆ 趣旨 統計の普及・啓発及び統計関係者の意識高揚を図る
- ◆ 主催 青森県
つがる市
青森県統計協会
- ◆ 後援 総務省政策統括官（統計制度担当）
青森県市長会
青森県町村会
つがる市統計協会
株式会社東奥日報社
株式会社デーリー東北新聞社
株式会社陸奥新報社
NHK青森放送局
青森放送株式会社
株式会社青森テレビ
青森朝日放送株式会社
株式会社エフエム青森



令和4年度「統計の日」標語

**集まれば
大きな力に統計調査**

—「統計の日」(10月18日)—

統計の日とは

日本で最初の近代的生産統計「府県物産表」に関する太政官布告が公布された明治3年9月24日を太陽暦に換算した10月18日を「統計の日」としています。

この「統計の日」は、国民の皆さまに、統計の重要性に対する関心と理解を深めていただくとともに、統計調査に対し、より一層のご協力をいただくため、昭和48年7月3日の閣議了解によって定められました。

— 大会次第 —

◆ 開会

◆ 挨拶

主 催 者 青森県知事

開催地市長 つがる市長

第 一 部

◆ 表彰式

各大臣等表彰

(総務省、厚生労働省)

青森県知事表彰

青森県統計協会会長表彰

青森県統計グラフコンクール表彰

(青森県知事賞、指導優良校、青森県統計協会会長賞)

◆ 受賞者代表謝辞

弘前市統計調査員代表者

◆ 来賓祝辞

総務大臣

青森県議会議長

第 二 部

◆ 記念講演

「縄文の音」

講師：縄文太鼓演奏者 宮崎 龍美 氏

◆ 挨拶

次期開催地市長 青森市長

◆ 閉会

各大臣等表彰

総務大臣表彰

名 称	受 賞 者
〔統計調査員等 8名〕	
労 働 力 調 査	田 村 義 雄 (八 戸 市)
労 働 力 調 査	菅 原 崇 (青 森 市)
小 売 物 価 統 計 調 査	岡 田 春 美 (三 沢 市)
令和3年経済センサス(調査員)	中 村 剛 (弘 前 市)
令和3年経済センサス(指導員)	齋 藤 列 子 (青 森 市)
令和3年社会生活基本調査	藤 巻 芳 枝 (青 森 市)
各 種 統 計 調 査	蛭 名 喜 光 (八 戸 市)
各 種 統 計 調 査	鳴 海 毅 (弘 前 市)

厚生労働大臣表彰

名 称	受 賞 者
毎 月 勤 労 統 計 調 査 〔調査事業所 6事業所〕	相馬村農業協同組合 (弘前市) 森羽紙業株式会社 (五所川原市) 株式会社サンカツ (黒石市) 彦建設株式会社 (東北町) 東北臨海興業株式会社 (八戸市) 青森合同青果株式会社 (青森市)

厚生労働省政策統括官表彰

名 称	受 賞 者
労 働 統 計 [統計調査員 4名]	工 藤 初 穂 (青 森 市) 木 戸 豊 子 (外 ヶ 浜 町) 扇 野 千 恵 子 (青 森 市) 吉 田 緑 (深 浦 町)

叙勲・褒章受章者

令和4年春の叙勲・褒章

名 称	受 章 者
瑞 宝 単 光 章	片 谷 敏 子 (青 森 市)

青森県知事表彰受賞者

青森県統計功績者表彰

[統計調査員 16名]

統計調査員として10年以上従事し、職務に忠実であり、かつ調査に精励し、他の模範となる者

市町村名	受 賞 者	市町村名	受 賞 者
青 森 市	山 口 朝 子	八 戸 市	奈 良 正 人
青 森 市	千 代 谷 静 江	黒 石 市	亀 谷 愛 子
青 森 市	成 田 菜 穂 子	黒 石 市	信 平 弘 光
青 森 市	葛 西 丈 信	む つ 市	千 葉 良 司
弘 前 市	木 村 重 孝	平 内 町	能 登 谷 あ や 子
八 戸 市	福 土 政 子	お い ら せ 町	西 舘 和 子
八 戸 市	松 本 陽 子	東 通 村	青 木 光 彦
八 戸 市	磯 嶋 榮 助	五 戸 町	新 井 山 義 哉

青森県統計協会会長表彰受賞者

統計功労者表彰

〔統計調査員 50名〕

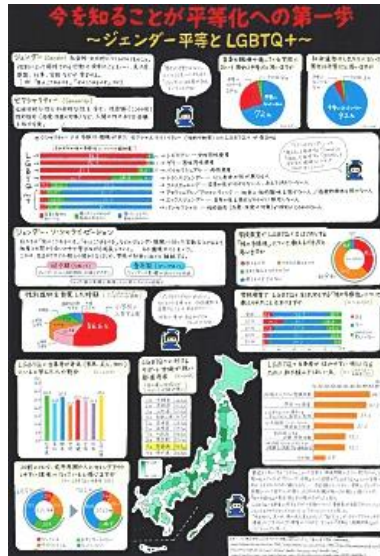
統計調査員として5年以上従事し、功績が顕著であると認められる者

市町村名	受賞者	市町村名	受賞者
青森市	藤巻芳枝	黒石市	工藤祐子
青森市	木村仁	黒石市	櫻庭久美子
青森市	武内留美子	黒石市	工藤秀生
青森市	菊池忍み子	十和田市	小笠原一廣
弘前市	相馬隆範	三沢市	石田三次郎
弘前市	石田容子	三沢市	織笠光子
弘前市	三浦のり子	むつ市	高橋正一
弘前市	伊藤次子	むつ市	杉澤健一
弘前市	高橋和彦	むつ市	山本春美
弘前市	高橋麗子	つがる市	増田公
弘前市	葛西秋男	野辺地町	橋本幸子
弘前市	中山敦子	野辺地町	大山敬輔
弘前市	相馬正治	七戸町	上原子真治
弘前市	大嶋笑子	七戸町	石川清江
弘前市	五十嵐八ギ	七戸町	竹内寿子
弘前市	赤平恵美子	七戸町	船水弘子
弘前市	八木橋充信	七戸町	倉本照美
弘前市	佐藤孝治	七戸町	五十嵐みよ
弘前市	安田眞津子	七戸町	兔内佐智子
弘前市	荒関眞貴子	七戸町	楠フミエ
弘前市	太田勝雄	六戸町	小倉よしい
弘前市	葛西ひろみ	六戸町	高坂一昌
八戸市	金田尚庸	六戸町	下田信子
黒石市	中西さとみ	五戸町	橋本裕子
黒石市	坂本千香	新郷村	長野良子

青森県統計グラフコンクール受賞者

知事賞

区分	受賞者	学校名	学年
第4部 中学校の生徒	佐々木 琉生	弘前大学教育学部附属中学校	1



今を知ることが平等化への第一歩
~ジェンダー平等とLGBTQ+~

知事賞

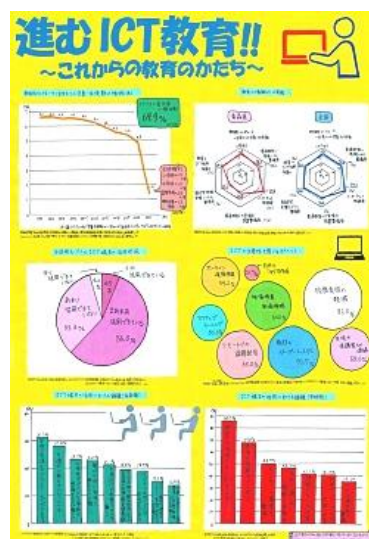
区分	受賞者	学校名	学年
パソコン統計グラフの部	小野 菜々子 柴田 匠美 小林 七海 佐藤 望愛留	青森県立弘前中央高等学校	3



塩分取りすぎな青森県民へ！
リンゴを塩水につける意味ってあるの？

青森県統計協会長賞

区 分	受賞者	学校名	学年
第5部 高等学校以上の生徒、 学生及び一般	後藤 美悠	青森県立弘前高等学校	1



進むICT教育!!
~これからの教育のかたち~

令和4年度青森県統計グラフコンクール 入賞作品一覧

[第2部] 小学校3年生及び4年生

賞	表 題	受賞者	学校名	学年
統計協会 奨励賞	ぼくが見つけたLEDのふしぎ	別宮 志郎	弘前大学教育学部附属小学校	4

[第3部] 小学校5年生及び6年生

賞	表 題	受賞者	学校名	学年
入 選	18歳でおとなになる！ ～2022年4月より18歳から成人と認められて～	真壁 穂佳	弘前市立文京小学校	6
入 選	知ってる？食品ロス問題	境 伶真	八戸市立白銀小学校	6
統計協会 奨励賞	教えて、みんなのお金の使い道	松橋 葵梨 傳法 朱音	青森市立篠田小学校	6
統計協会 奨励賞	青森の肥満解消大作戦	中嶋 結心 三上 遥菜	青森市立篠田小学校	6

[第4部] 中学校の生徒

賞	表題	受賞者	学校名	学年
知事賞	今を知ることが平等化への第一歩 ～ジェンダー平等とLGBTQ+～	佐々木 琉生	弘前大学教育学部附属中学校	1
入選	日本の里親制度	伊藤 さくら	弘前大学教育学部附属中学校	1
入選	あなたは大丈夫？スマホ依存	本多 美晴	弘前大学教育学部附属中学校	1
入選	青森県制服のねだん調査	八島 咲桜	弘前大学教育学部附属中学校	1
佳作	スマホによって変わった中学生！？	伊吹 百萌	弘前大学教育学部附属中学校	1
佳作	視力低下を防止するために	小林 陽向	弘前大学教育学部附属中学校	1
佳作	増加原因は私たち人間！？ 絶滅危惧種	田中 美玖	弘前大学教育学部附属中学校	1
佳作	SOS！祭りを救え！ ～祭り文化の未来を考える～	藤岡 凜々子	弘前大学教育学部附属中学校	2
統計協会 奨励賞	昆虫が食糧危機を救う！？	蔦谷 友南	弘前大学教育学部附属中学校	3
統計協会 奨励賞	マスクで体に悪影響！？	中村 迦月	八戸工業大学第二高等学校 附属中学校	1

[第5部] 高等学校以上の生徒、学生及び一般

賞	表題	受賞者	学校名	学年
統計協会長賞	進むICT教育！！ ～これからの教育のかたち～	後藤 美悠	青森県立弘前高等学校	1

[パソコン統計グラフの部]

賞	表題	受賞者	学校名	学年
知事賞	塩分取りすぎな青森県民へ！ リンゴを塩水につける意味ってあるの？	小野 菜々子 柴田 匠美 小林 七海 佐藤 望愛留	青森県立弘前中央高等学校	3
入選	1日1個のリンゴは医者いらず？	室谷 桜花	弘前大学教育学部附属中学校	1
佳作	化学肥料価格高騰から農業を救おう！ 地域資源の活用を！	成田 充希	弘前大学教育学部附属中学校	3
統計協会 奨励賞	ペットの命を大切に！ ～動物愛護管理法の改正に伴う飼い主の意識変化を捉える～	園木 悠世	弘前大学教育学部附属中学校	3

[指導優良校]

区 分	受 賞 校
指 導 優 良 校	弘前大学教育学部附属中学校
指 導 優 良 校	青森県立弘前中央高等学校

[奨励校]

区 分	受 賞 校
奨 励 校	青森市立篠田小学校
奨 励 校	青森市立横内小学校
奨 励 校	弘前市立文京小学校

第70回統計グラフ全国コンクール入賞者

区 分	受賞者	学校名	学年
入選 【PCの部】	小野 菜々子 柴田 匠美 小林 七海 佐藤 望愛留	青森県立弘前中央高等学校	3

記念講演

- ◆ テーマ

「縄文の音」

～縄文の魅力や楽しみ方について～

- ◆ 講師 宮崎 龍美 氏
縄文太鼓演奏者



- ◆ 講師紹介（プロフィール）

1952年つがる市森田町生まれ。1970年から旧森田村役場に勤務。

1988年、「森田村石神もつけの会」に加入し、土器に布を被せて製作した太鼓を「石神縄文太鼓」と名付け、テレビ出演を通して全国へ発信。

その後、縄文時代から自生していると言われるイタドリに穴を開け、笛を製作し、ニューヨークやパリをはじめ、国内外で公演を実施。

現在は、森田歴史民俗資料館の管理人をしながら、縄文に関する演奏や講演を行い、縄文の魅力や楽しみ方を発信し続けている。



JR 木造駅

亀ヶ岡石器時代遺跡から出土した「遮光器土偶」をモチーフにした駅舎
電車の到着に合わせ、通称「しゃこちゃん」が目を7色に光らせながら皆様を歓迎します